

3302

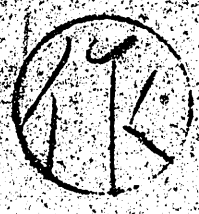
人

三
一三
緊
急

受信〇三四五
譯始〇三五五

譯了〇四二〇 電〇六六三二 作 概

第三十三號 海防 艦



第一〇二戰隊

海上護衛總司令部 第一護衛艦隊 御 藏

機密 第一二二〇〇〇番電

戰國概報第一號

北緯二〇度四六分 東經一一二度〇三分 於一八〇〇日二四
機來襲我交戰中一八四〇右後方五〇米ニ六〇 爆彈三ノ至近彈ヲ受ケタ
タルモ本艦異狀ナシ今尙交戰中

道六四四六 於十三(四七〇五) 高雄 日高 (雨 谷)

0341

右垣島

人

作

三
一三

受信 〇〇二〇〇〇
譯始 〇四〇〇〇〇
了 〇七四〇
電 〇六一七九
潛作 〇

東京通信隊・横須賀通信隊・沖繩根
吳通信隊・佐世保通信隊

共符

機密第一二二〇三〇番電 二分ノ二

發 右垣島警備隊司令

一 准士官以上艇隊長 二 整備隊長 一

二 下士官搭乗員三五主計科員一〇醫務科員六信號員一機關員內火二

一 電氣五木工四金工四計八六名。

〔電信課註 本電12既配布〕

通六四一八 天二Dケ六 (B) 佐通

廿廿瀨 (塩田)

283

20. 3. 14



三 一三 受信 一三〇〇 譯了 一四三〇

電 〇五七八七六

作 概
政 本
教 部

無線艦所用共通符號

機密第一二二一〇九番電 二分〇二

發 沖繩根據地隊司令官

宛 次官 次長 佐鎮長官 艦政本部長 航空本部長

通報 聯合艦隊參謀長

一 陸軍側ニテハ沖繩本島及附近島嶼關係ノミニ對シ震洋六〇〇隻以上
 進出整備シ軍船舶隊長(大佐)指ノ導ノ下ニ其ノ幹部タル少佐以下
 見習士官ニ至ル總員ニ對シ既ニ了ル狀況ナルモ海軍側特攻
 ノ進出整備教育訓練等選色大ナリ至急促進方御配慮ヲ得度
 二 各種特攻兵器ヲ統一綜合使用スル準則ヲ至急配布願ハシ度

通六四八一 六五〇五 呂一三五五(B) 佐世保 相澤、齋藤(森) 田

284 20. 3. 14

人



三 一三 受信〇九四〇 譯了一二四三 電〇五七四七 作 概

【通報表示】 東京通信隊・聯合艦隊口

機密第一二二二三四番電

宛 七FGB戦概着

東二A日戦概三月十二日

戦線ハ昨日ニ同シ

(イ) 矢山正面戦車三輛侵入火燄ヲ噴射シツツ陣地ヲ亂ヲ企圖セルモ夕刻撃退セリ

(ロ) 北地區西正面戦車五輛ヲ伴フ有力部隊侵入セルモ激戦ノ後撃退セリ
 (ハ) 北地區秘匿陣地高角砲ニ對シ猛射セリ(二一五八) 其

通六五二六

キシ五(ア)

ロ

木更津

清水(小林)

共

符

20. 3. 14

285



作

稟急

三 一 三 受信 〇 三 三 二 譯了 〇 四 一 五 電 〇 五 六 八 一 作 概

局長	一 巡長	取隊	田	士 勇	山	三 二 號	海 防 艦
花 設 艦 隊	A	B	C	H	D		
海 設 艦 隊							

機密第一二二三〇〇番電

戰術概報第二號

敵機約二〇分毎ニ深返シ來襲シ來レルモ其ノ都度之ヲ擊退セリニ

四〇敵情ヲ失フ本艦戦果極善ナシ消耗弾主砲二九機銃彈一二〇。

通六四四四

オ一五（四七〇五）高通 仙波（細川）

286

20. 3. 13

三 一三 受信一〇〇三七 譯了一、二、六 電〇六〇五六 諜通

會分分遣隊

羅通信隊

軍令部特務班・大和田通信隊・新發田、永興各分遣隊・鎮警

機密第一二二三三五五番電二分ノ一

20. 3. 14

太平洋艦隊演習開始ノ徵候アリ

(1) 現在迄ニ參加ヲ確認セルモノ六〇三四三、三〇二五二、二二二一〇

二、二二一〇、二二一〇八、二〇二一四、二〇八四九、二一四

〇〇以後隱語作戰電報等出現シアリ。

(電信課註 二分ノ二未着)

通六四八二 呂一Bケ五(B) 佐通 川崎(小林)

三 一三 受信 一一二二六 譯了 〇九三〇 電 〇六一七八 課 通
譯始 一二二五〇

會 文 分 遣 隊

軍令部特務班・大和田通信隊・新發田、永興各分遣隊・鎮警

機密第一一二二三三五五番電二分ノ一二

口演習海面ハ「アスコリド」島南方ナルモノノ如シ一〇二〇時北

緯四二度〇〇分東經一三二度三三分ノ地點ニ船團護衛艦ヲ發見シアリ

(以上△)

(ロ)本朝〇六〇〇(ソ聯時以下同)北緯四二度四四分(東經不明)ノ地點

ヨリ「エル」型驅逐艦二潜水艦四。

「電信課註 本電二分ノ一既配布」

「東 通註 本電誤字多キ爲遲延ス」

通六五二五

呂一Bケ五(・B)佐通 野木(小林)

通通通通通
六六六六六
八六六六六
八九七六〇
二三九〇七

呂

ケ五

一七五九〇
六二三五
KG KG

十通

末鈴坂漆
光木本原
杉本

(一)

發 第九三六航空隊司令官
宛 參謀長
G E B 機密第〇九二二〇五番電「カツライ」ニテ受信誤ノ爲錯誤ア
リ 實際機密第一一六一〇番電ニ左ノ戰訓所見ヲ追加ス



海 護 總 口

第一護衛艦隊口・九〇一空▽・一一根▽・二八航戰▽
カムラン航空基地・一三航空艦隊口・九三六空昭南派遣隊

機密第一三〇一五五番電 五分ノ一二三四五

至 急 三 一 四

受信開始〇〇四三五八

譯了〇七一〇電自〇〇六一五六一

作 訓

最近佛領印度支那沿岸ニ於ケル敵機敵潛ニ依ル攻撃甚シク特ニ「
パダソス」岬ヨリ「ラオアグ」岬ニ至ル間ニ於テ然リ之ガ對策ト
シテ

(イ) 船團運航ニ關シ

(一) 首題區域ハ晝間航行ヲ以テ受クル空襲ノ危險大且直衛機ノ機
能發揮至難ナルヲ以テ(二)項トモ關聯護衛艦艇並ニ飛行機ノ電
探哨戒ヲ強化シ夜間侵入スルヲ有利ト認ム

(二) 從來ノ航行航路ハ一律ニ接岸航路ナリシモ敵潛敵機ノ被害ヲ
受ケ易キ以テ晝間接岸夜間沖合(距岸三〇哩程度)ヲ航行且
大幅ノ之字航路ヲ採用スルヲ可ト認ム

(三) 夜間航行序列ニ於テ船團及護衛艦全部ガ單縱陣ニテ行動スル
ハ敵潛ノ攻撃ヲ受ケ易キモノト思考ス(ヒ九六船團カムラン
沖ヲ通過時ニ於ケル被雷ノ例)

(四) 護衛兵力不足ノ情況ヲ考慮之ガ機動集中ヲ可能ナラシムル爲
重要船團ノ危險區域ニ於ケル運航間隔ハ三日以上ヲ必要ト認

(五)

(四) 飛行機ノ對潛哨戒法

(一) 上空哨戒戰闘機九

(二) 水上戰闘機六機劣衰ニシテナキニ勝ル程度

(三) ヒ八八船團運航時水戰二機護衛中B1二四ニ依リ水偵銃撃ヲ

受ケ自爆セリ是非共當隊兵力トシテ陸戰(前所見一六機トセ

シハ僅少ニシテ佛領印度支那方面ニ最小限三六機)配備ヲ必

要トス陸攻ヲ以テスル附近海面磁探掃蕩並ニ飛行艇ヲ以テス

ル夜間電探哨戒ハ有効ナリ之ガ當方面配屬ヲ是非必要トス

ニ基地ノ關係上「ツーラン」「コタバール」ニ艦攻各六機程度ノ配備

ヲ必要トス。

(東運註 本電誤字極メテ多シ

(イ) 脱作?

(三)

人

作

至 急

受信 一七〇八

了 〇六〇〇 電 〇六〇五七

作橋 本〇

九〇一〇

九〇一〇 派遺除 横濱、指宿、厚木、木更津各航空基地、梶
航空本部、九〇一〇 (戊) 廈門、香港、大村各航空基地

機密第一三〇九一〇 香電

20. 3. 14

管陸機密第一四二一五五番電及機密第二七二一〇三番電關聯

海南及內地沿岸ハ一〇〇〇乃至一六〇〇及二〇〇〇乃至〇〇〇

(特ニ月明時) 佛印方面ハ〇八〇〇乃至一五〇〇ノ間行動(特ニ發

着)セザル機密管制サレ度 尙右時間外ト雖モ敵哨戒機ヲ統

嚴ニ警戒ヲ要ス。

東通誌 本誌誤字極メテ多シ

通 六五九三

天 一Bケ五(一三

二〇四) 高通

櫻井(林部)

29

三一三 受信 一一二〇四五 譯了 一三〇〇 電〇五七七四

兵航作
機
備本〇



⑤ 五、三各航空艦隊口
⑤ 東 通・關東航空隊、横 鎮

機密第一三〇九三六番電

通報 大海參一部 軍務局 航本總務部

G F 電令作第五五五號

G F 電令作第五二四號ニ依ル櫻花特攻隊基地中八丈島ヲ削ル

五六五〇四 呂 一 B 夕五 (B) 聯合艦隊口

岡崎 (漢) 顧 (漢)

20. 3. 14

292

人

三
一
三
受信
開始
二二二〇

一四
了〇一三一

電
〇六〇六二
〇六〇九三

作概

第一根

大海・海軍省・聯合艦隊司令部・西部方面部隊司令部



海上警備隊司令部・支那方面艦隊司令部・二遣支隊司令部
第一護衛艦隊司令部・第一警備隊司令部

機密第一三一〇二一番電 三分ノ一、二

佛印根部隊 明作戦戦闘概報其ノ二

一、カムラン所在佛印海軍ハ作戦開始前ヨリ他ニ移駐明作戦開始豫定日
ハ其ノ約半數駐屯セル所十日拂脱迄ニ處理ヲ完了セリ「夕夕子」島
ノ外抵抗ナシ捕虜佛人八一（内四士官）安南兵二七五佛軍戦死三名
我方方死傷二七名。

（電信課註 本電 三分ノ一 三未着）

五六七三五 天一 日七五（六二三五）一〇 川崎（福田）

20. 3. 14

ニカムラン機ニ於ケル主要接收兵器一四機砲七門八機砲九門（以上何
 シモ舊式平射砲一四機二門ノ外尾栓ヲ取外シアリテ使用シ得ズ）
 四・七機砲二門探照燈二基九〇機コンパス一基測距儀三基各砲彈藥
 多數。

人

三
一三三 受信一七五〇 一四譯了二二一〇 電〇六一五一 作概〇
譯始二〇三〇 一 一 根



大本營海軍部・海軍省・聯合艦隊口、西部方面部隊各口
在泰館附武官
海上護衛總口、一護衛艦隊口、支那方面艦隊口、二遣支艦隊
海南警備府、高雄警備府、一警備隊

機密第一三一〇二一番電 三分ノ三

20. 3. 14

三、カムラン灣方面ハ連日概ネ一〇〇〇頃ヨリ一七〇〇頃迄數回敵飛行
機ノ來襲アルチ例トシ高角砲臺ヲ構築セルモ差當リ對空防禦力増大
セズ今後寧口敵ノ頻繁ナル空襲ヲ豫期セラレ晝間灣内避泊ニ適セズ。

（東通註 本電誤字ノ爲遲延）

（電信課註 本電三分ノ二既配布）

294

通六六五〇 天 B (一七五九〇KG) 十 通

齋藤 (増田)

2kg

人

三 一三 受信一六二〇 了 一八一五 電 〇五八六一 作 概

千防部隊戦闘概報着信監所 第五二警備隊

5/P

機密

機密第一三一三二二四番電

第二警備部隊戦闘概報四九號

(武藏地區三月十三日)

一〇九〇八武藏地區八〇度一〇〇軒敵編隊捕捉〇九三五B二四四機

高度六五〇〇米ニテ密山崎方向ヨリ侵入鴨浦海岸ニ小型爆彈數箇

乙前灣海中ニ十數箇投下九〇度方向ニ避退セリ

三 戰果 被害ナシ

三 發射彈數十二種高角砲六發

四 天候 雪時々曇雲量一〇雲高一〇〇〇米北風六米視界四軒

通六五五八 壽 (日) 大湊 山下 (嶽) 津

29. 3. 14

人

三 一三 受信一六五〇一 譯了〇五〇〇 電〇六〇二六 作稿〇

至 警 高 警



● 花連港方面防備部隊 ● 高 警
● 海軍省 ● 軍司令部 ● 聯合艦隊
馬 公 方 面 特 根

機密第一三一二四〇番電

火燒島及紅頭嶼見張員撤收準備ヲ行ハシムベシ
便船ニ關シテハ後令ス。

（京通註 作成誤リニ付翻譯遅延ス。）

通六八八一 於一五（一三五二〇） 高雄 峰（標） 澤（

20. 3. 14

人

1212

三 一四 受信 〇〇二三四五 譯了 〇四三〇 電 〇六一〇八 作

五基地航空部隊戦闘報告信艦所

ザンボアンガ航空基地

機密第一三一二五二番電

一、一二〇〇敵艦船情況巡洋艦三艘逐艦六隻大型輸送船五上陸用舟艇三

〇其ノ他二〇

二敵陸上兵力大ナル變化ナシ舊飛行場西端ニ輕飛行機七機野砲六門

測機ト野砲迫撃砲トノ連 密ニシテ牽制部隊ノ移動不能ナリ

三上空敵機P-1三八 一機B-1二四 一機B-1二五 一六機F六二六

機。

通六八二三 呂一Bラ十八(七八五五K)三二二通

咲花(渡瀬)

297

20. 3. 14

人



三一四 受信一三〇〇五 譯了一六〇〇 電〇六二九〇 整作

東、横、各通信隊

二 一 通

機密第一三一六三三番電

發 第二百二工作部長

宛 艦本總務部長 横須賀工廠總務部長 舞鶴工廠總務部長

通報 五十餘艦長

五十餘舵角二〇度ガント油壓空氣壓縮ポンプガント應急操舵装置ハ
ウオーム及ウオーム齒車製作ニ長自時ヲ要ス工事完了遅延ノ慮アリ
シヲ以テ應急處置トシテ同艦左舷揚錨機ウオーム齒車齒部ヲ新規使
用ノコトニ決定當部ニテ工事促進シ三月下旬工事完成ノ見込之ガ爲
ウオーム齒車齒部及ウオーム製作準備ノコトニ取計ハレ度。

20. 3. 15

298

通六九二六 壽一Bアル三(一八三六七、五RC)二一通小澤(小澤)

三一四

受信開始 一〇〇二〇〇

譯了 一二五〇

電 〇六一八八

作 概

緊急

ヤツブ 航空基地



五聯合基地航空部隊戦闘概報着信艦所

鹿屋航空基地。三〇根

機密第一三一七一五番電

〇九三〇一〇三〇P四〇一 四機二四〇度PBY一 一機二
 五〇度ヨリ來襲ロフミール飛行場投彈後全機二二〇度ニ去ル一〇
 〇一四二五PBY一 二 六機一六〇度PBY一 一機八〇度ヨ
 リ來襲第一飛行場投彈後九〇度ニ向フ〇九〇〇一〇三〇 二六〇
 度一五一五一一六一五 四〇度ヨリ何レモPBY一 二機宛飛來
 各部偵察銃撃後全機二五一度方向ニ去ル一〇二〇PBY一 (増槽附)
 四機飛來上空飛行三〇〇度ニ去ル一〇一五一一〇三〇P三八 一機三〇〇
 度ヨリ飛來偵察二二〇度ニ向フ

通六九二一

ラ十四

呂二B (一五七一〇K) 三

通

佐藤 (増田)

(1)

0980

ニ 戦果ナシ

被撃第一飛行場滑走路被弾(一二)

三 銀河全部降艦。

(2)

局長	一課長	田	山
佐	佐	佐	佐

三 一 三
 受信二〇〇九
 開始二〇五〇
 了二一三〇
 電〇五九四一
 〇五九四〇
 作

大海一部・海上護衛總口・聯合艦隊口・三三二〇各航空艦隊・各隊各管

機密第一三一七五一番電 二分ノ一、二

本十三日佐多岬南方ヨリ九州西岸ヲ北上〇三三〇長崎佐世保附近ニ
 至リ反轉南下〇四〇〇颯列島西方ニ〇運ヲ南方ニ脱去セル敵機二機
 ハ見張電探報告ヲ綜合スルニ〇一ニ九ニ非ズシテ双發機ナリシ莫大
 ナリ敵ノ硫黄島基地信用開始位ニ非高方面基地整備開始日二九以外
 ノ敵基地航空部隊兵力本土方面來襲ニ對シ警戒ス。

通六六九八・六六九九 天二〇(三)佐世保羽釜・片山(飯田)

三
一三

電〇六四九

作訓

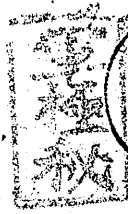
至急

共

符

海軍 海上護衛總部隊
大海參一部・聯合艦隊口・支那方面艦隊口

機密第一三一八五六番電



GEB 戰訓速報第四五號

海防艦第一三四號ハ十二日〇〇四〇北一二度四〇分東一一〇度〇二分ニ於テ曇天暗夜風北西十二米長濤アル狀況ニ於テ克ク電探ニテ敵浮上潜水艦ヲ五軒ニ捕捉爾後隱密近迫一。五軒ニテ更ニ水中探信儀ニテ確實ニ之ヲ探知捕捉一。二軒ニテ艦影ヲ確認有ニ銃砲撃開始二十五耗機銃二十數發曳跟彈約十發ヲ司令塔ニ命中セシメ(砲彈命中セズ)敵潛蒼惶潜没スル(距離一軒電動機音聽知)保艦探知ニ依リ近接針路交角約三〇度ヲ以テ其ノ前程ニ交叉スル如ク一〇〇米ヨリ爆雷攻撃開始(深度六〇。九〇。一二〇混用)確實ニ之ヲ撃沈セリ

通一五四〇・一五四一。一五四二 天二ヶ六 (鈴三) 1

0. 3. 15

301

海防艦第一三四號今回ノ戰果ハ一ノ艦不斷ニ術力練成ニ努ムルト
共ニ兵器整備ヲ優良ニシ戰闘ニ當リテハ克ク現裝備ノ全兵器ヲ遺
ナク活用シ對潛戰力ヲ極度ニ發揮セル結果ナリト認ム。

三 一四 受信 一〇三〇 譯了 一三二三 電〇六一八七 作 概
至 急 二六根



二六根 戰闘概報着信艦所・三南遣艦隊各口

機密 一三二〇三〇 考電

20. 3. 14

六五B 戰闘概報 十三日

一〇八二〇ヨリ〇九一五迄P 一四〇延十一ワシレ 地區銃爆撃 一二四五

一五三〇・一六〇〇・一七一五 單發各二機カウ 灣地區偵察戰果被

害ナシ

ニタルハ 碇泊艦船 視界不良ノ爲不明

三三ロタイ 發進針路北乃至西大型一六中型一五小型一二計四三。

302

通六九三六 呂二四ヲ十八(一八三六七五) 二二通

川崎(増田)

通六八八七

呂一Bケ五(B) 横須賀

田中(西卷)

當隊機密第一三二三一〇番電關聯

定列訓練終了後串本(小松島)派出ノ二組ハ本隊勤務トシ本隊派出員ト共ニ一掃蕩隊ヲ編成敵情ニ應ジ隨時移動封漕作戰ニ任ゼシメラルル内意ナリ。

機密第一三二三二二〇番電

海上護衛總口。横 鎮。三海上護衛隊P。横防戦P
 大湊空。鎮空山田灣基地。九〇三空濱島派遣隊



至三
 一四
 急



航作
 概
 本〇

20. 3. 14

人

三
一
三
急

受信
〇〇二五五
〇四〇六

譯了
〇六〇六
〇六〇四八

作概
〇

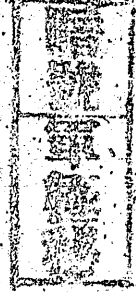
共
符



皇軍需部佐伯支部

海護總局・吳防戦▽・佐領・皇軍需部

機密第一三二二三五二番電



機雷部隊指揮官

東海第七機雷堰構成へ都合ニ依り中止トナル本機雷堰用機雷ハ他ニ
轉用セラルル豫定ニ付搭載準備見合ハサレ度。

通六六六七 呂一〇ケカ (日) (佐通 西村) (岩崎)

20. 3. 14

軍極秘

人事局

三一四 二二四〇 受 海護經由

軍務 艦本 航本 軍令

大阪警備府司令長官

20.3.15 配

局長 一課長

A	B	C	D
E	F	G	H
I	J	K	L

局長 一課長

三三二區戰鬪概報 (註) 敵向ノ戰鬪概報中自爆一機トアルハ誤未歸還

ナリ

二三一五ヨリ〇二四〇ノ間B約九十機若クハ單機ヲ以テ潮ノ岬附近紀伊水道ヨリ逐次大阪ニ侵入高度一〇〇〇乃至五〇〇〇月光四機

〇〇〇〇邀撃ノ爲發進内二機大阪上空高度三〇〇〇乃至四〇〇〇照射

中ノ敵三機捕捉右ニ對シ命中彈多數與ヘタル事確實ナルモ何レモ雲中ニ逸ス

〇三三〇迄三機歸着天候雲量一〇雲高不明濃密層アリ視界極メテ不良

2980

大阪

305

二 戦 果

撃破二機 (内一機雲中ニ逸シタル爲戦果確認シ得ザルモ概確實)
被 害

一機未歸還 二機着陸ノ際大破 人員異状ナシ

(終)

人

三一四 了二二〇九

受受信信信信
二二二二二
〇一〇〇〇
五〇五二五
九六八五四

電電電電電
〇〇〇〇〇
六六六六六
三三三三三
六六六六六
四三二一〇

作 概〇

作戰特別緊急

海 晃 丸

20. 3. 15



南哨戒線敵情着信箇所

我撃戦中 北緯三〇度五八分 東經一四四度五四分 二〇二〇。

我觸接中 二〇二二。

視界困難ニテ判明出來ザルガ敵ハ相當ノ大部隊ノ如シ 二〇四六。

我敵大部隊ニ對シ突撃ヲ決行ス 二〇五〇。

我敵ニ對シ突撃ヲ決行ス死テ天皇陛下萬歲三唱 二〇五〇。

通七三三八、七三三〇、七三二〇、カトア一(六四九〇K)監視艇 仙波(雨)谷

人

作戦特別緊急

三一四

受信二二一八
譯始二二四五

譯了二二四八

電〇六三六五

作 織〇



警 防 戒 隊

二二二戰隊

20. 3. 15

二〇一七海島丸敵部隊ノ北進ナルヲ發見セリ警戒ヲ嚴ニセリ。

二一〇八

308

編七二四七 カトマ一(六四九〇) 監視艇 仙波(猪狩)

人

至
急

三一四
受信〇九三五
譯始一〇〇〇
譯了一〇四五
電〇六一三六
航本・施本



東通・三航空艦隊・一〇一航戦・特通・十航空艦隊

機密第一四〇七〇二番電

發
聯合艦隊副官

薙
茂原、筑波、郡山、松島、百里原、藤枝、豊橋、明治、岡崎、
名古屋、大井各航空基地、聯合艦隊司令長官

通報
部、海參一部、横濱、航本總務部、施設本部總務部、横須賀施設

航空基地視察ハ天候ノ都合ニ依リ二日宛延期
ラシ度。

通六九二〇
呂一日々五
B
G
H

安彦（酒卷）

人

作戰緊急

三 一四 受信一〇〇二〇三 譯了 一〇五三 電〇六一四八 作 減

大臣・海上護衛總口

大阪警備府



◎ 三海上護衛隊下・兵庫・板橋・舞鏡

機密第一四〇八〇二番電

大阪警備府戰鬥概報第九號ノ二

一、三三二空月光四機〇〇二〇ヨリ敵機趣撃ノ爲發進敵機三機ヲ捕捉攻撃
内二機ニ命中彈ヲ得タルモ雲中ニ逸ス〇三〇迄ニ三機歸着ニ機着陸
ノ際大破人員異狀ヲシ一機自爆セン模様搜索中
二、戦果 撃破二機。

道六九四六

於一五八 B 阪 警

仙波(金、森)

人

傍

至急

三一四

受信開始一〇九四〇四

譯丁一〇五〇 電〇六一三七

航作機本〇

四艦隊P

五、三各航空艦隊P

機密第一四〇八二六番電

發 聯合艦隊參謀

P 所在彩雲ノ機材並搭乗員現狀速報サレ度。

通六九一九

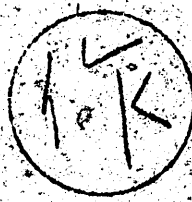
呂一B分五 (B) (GFP)

谷島 (細川)

20. 3. 14

311

10



三
一四
緊急

受信一〇〇三〇八
譯始一〇〇三〇八
譯了二一一〇
電〇六一四五
作機〇

東京灣北部隊

東京通信隊掃海隊佐

機密第一四〇八三〇番電

通報 第二九號掃海艇 第四二號驅潛艇 聯合艦隊口 大海
海上護衛總部隊口

横領電令作第六四號

東京灣北航路部隊指揮官、第二九號掃海艇及第四二號驅潛艇ヲ成ル
ベク速ニ佐世保ニ派遣作戰ニ臨シ佐領護衛部隊指揮官ノ指揮ヲ受ケ
シムルベシ。

東通駐 〇 P ツラ濟

通六九三〇 天二Bケ六 B 横通

内田(塩田)

20. 3. 14

人

作

三 一四 受信一〇五六 譯了一五〇〇 電 〇六二四六五 作 概

父根戰團概報着信處所

機密第一四〇九三七番電 二分ノ一、二

20. 3. 15

父島根據地除戰團概報(三月十三日)

- 一 一五〇ヨリ一三三七ニ至ル間PBY15A單機ノ誘導ニ依リPI5
- 一 一二機來襲飛行場夜明山及二見灣沿岸銃爆撃一六一二ヨリBI二
- 四 十機來襲要岩附近ニ數十發投彈一九四七ヨリ十四日〇五〇〇ニ至
- ル間七次ニ亘リ各大型單機來襲中ノ州山地外周海面ニ投彈
- 三 戰果ナシ
- 三 被害戰死一行補不明三輕傷六以上陸軍。

313

通 六九九四二 呂一Bケ五(一〇二〇〇E) 父特通 筒井(山中)

フイ

人

至 三 一四 受信一六二五〇〇 一八〇〇 電〇六二八九
急 一



海軍省、大澤第一、聯合艦隊口
南東方面艦隊口

機密第一四一〇〇二番電

第八艦隊參謀長

南東方面艦隊機密第一〇一四一六番電關聯

今朝月明ブインヘノ大艦派遣方特ニ御配慮ヲ得度同輪送ニテ二屯搭

載ナルモノトシテ海軍關係マラリア劑八〇〇庄治療品通信器材、兵

器部分 品種子カンパン等四〇〇庄陸軍關係マラリア劑ヲ主トシハ

〇庄ノ補給要望ヲ詳細ハ關聯各部ニ連絡ス歸途奥田(二四九九)

西田(二六八二)及搭乗員准士官以上三下士官兵一二ヲ送還セシム。

通 七〇五〇 呂一。ラ十八(二七六三〇)八通 澤(杉本)

20. 3. 15

作航戰醫參
概本力務本